

2019原発のない福島を!

# 県民大集会

日時：2019年3月16日(土)13:30~  
会場：福島県教育会館(福島市)

# 自治労福島

自治労福島県本部機関紙

E-mail:chousa@jichiro-fukushima.or.jp

第801号

2019年(平成31年)

2月27日

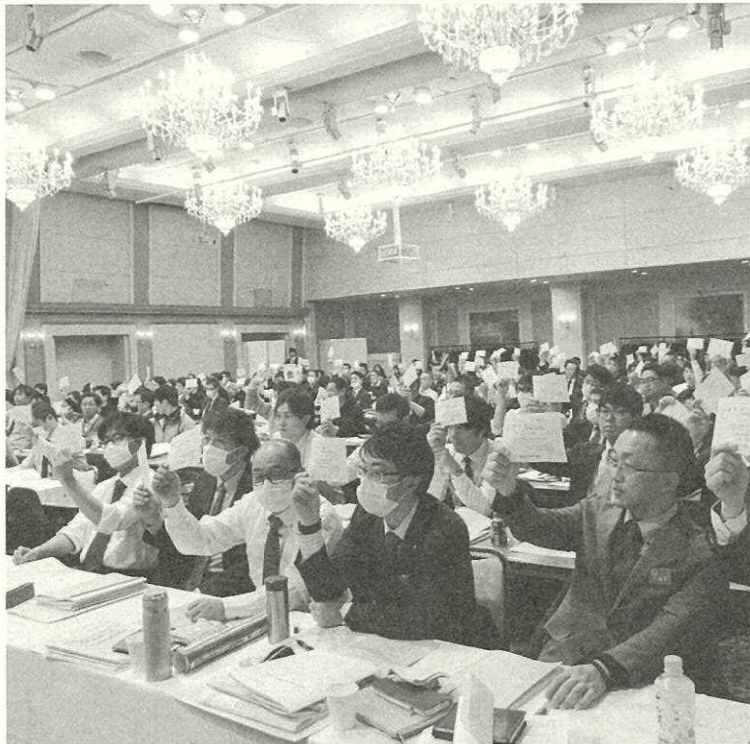
福島市荒町1-21  
自治労福島県本部  
発行人志賀一幸



## 県本部 第104回 臨時大会

# 2019春闘、参議院・各級自治体 選挙闘争の勝利にむけて

県本部は、2月8日、福島市「ホテル福島グリーンパレス」で、第104回臨時大会を開き、7議案を可決決定した。臨時大会には49単組175名の代議員・傍聴者が参加した。



全提出議案が圧倒的多数で可決され、たたかう方針を確立した

臨時大会の冒頭、議長団に菅野友里代議員(白河市職労)、内海幸一代議員(県職連合北会津支部)を選出し議事を進行した。はじめに志賀県本部中央執行委員長が挨拶。続いて、来賓の今野泰連合福島会長、紺野長人自治体議連合会長から激励の挨拶を受けた。その後、議案第5号県本部離職専従役員承認について(案)の先議を行い、満場の拍手で承認された。続いて、2019年度一般経過報告など3件の報告事項、2件の承認事項が満場の拍手で承認された。役員選挙、昼食休憩の後、議事を再開し、議案第1号2018秋季確定闘争の中間総括(案)、議案第2号自治労福島県本部2019春闘方針(案)など、4議案を提案し、質疑・討論を行った後、賛成多数で決定した。続いて、議案第6号、第7号の2議案を満場の拍手で可決した。質疑・討論では、伊達市職労長谷川代議員から、初任給格付け改善、南相馬市職労岡田代議員から、当局が進める組織機構改革、会津坂下町職労佐藤代議員から、人勧完全実施、県職連合澤村代議員から、民間春闘への事例をほかの単組で活かせるように進めていく。また、民間春闘については、連合の情報提供をしていく。選挙闘争については、情報提供とより効果的・効果的な取り組みを進めていく。今後も県本部として引き続き単組の支援を行っていく」と答弁した。その後、選挙委員会から報告があり、すべての役員が信任された。大会宣言を採択した後、ガンパロー三唱で臨時大会を締めくくった。大会で決定した方針に基づき、全単組で2019春闘に取り組み。

## 「第25回参議院選挙」支持拡大を

県本部は、本年7月に院議員選挙比例代表選実施される「第25回参議院選挙」において、「岸まきこ(立憲民主党)」「吉田ただと(社会民

主党)の推薦を決定し、推薦予定候補両名の必勝に向けた取り組みを進めている。各単組・組合員は、引き続き後援会加入の取り組みとともに、予定候補者の個人名周知による支持者拡大の取り組みをお願いしたい。



いよいよ正念場!!  
平和憲法を守りぬく。  
社会民主党 吉田ただと

### 自治労福島県本部2019年度執行体制

役職名	氏名	区分	出身単組	役職名	氏名	区分	出身単組
中央執行委員長	志賀一幸	専従	福島県職連合	中央執行委員(津)	渡部順三	専従	只見町職労
副中央執行委員長	内海幸一	非専従	福島県職連合	中央執行委員(津)	小池政和	非専従	会津若松市職労
副中央執行委員長	柳松秀紀	非専従	福島市職労	中央執行委員(津)	中野寿一	専従	いわき市職連合
副中央執行委員長	面川輝夫	非専従	鏡石町職労	中央執行委員(津)	志賀寿三	非専従	双葉町職労
書記長	澤田精一	専従	南相馬市職労	中央執行委員(津)	官野直敏	非専従	二本松市職労
書記次長	齋藤浩昭	専従	福島市職労	中央執行委員(津)	近藤一樹	非専従	西郷村職労
全県選出中央執行委員	木村篤史	専従	二本松市職労	中央執行委員(津)	飯塚美由希	非専従	喜多方市職労
自治労共済担当中央執行委員	坂内孝浩	専従	会津若松市職労	中央執行委員(津)	赤津まゆみ	非専従	いわき市職連合
連合福島担当中央執行委員	竹岡博之	専従	相馬市職労	中央執行委員(津)	長谷川友之	非専従	福島県職連合
中央執行委員(県)	吉田彰	専従	福島県職連合	中央執行委員(津)	棚木亜紀	非専従	喜多方市職労
中央執行委員(県)	引地力男	非専従	福島県職連合	中央執行委員(津)	溝井浩	非専従	石川町職労
中央執行委員(県北)	黒津正孝	専従	福島市職労	中央執行委員(津)	佐藤真一郎	非専従	川俣社協職労
中央執行委員(県北)	五十嵐貴哉	非専従	伊達市職労	会計監査委員	根本久男	非専従	福島県職連合
中央執行委員(県南)	日野泰治	専従	白河市職労	会計監査委員	遠藤智顕	非専従	本宮市職労
中央執行委員(県南)	加藤裕一	非専従	古殿町職労	会計監査委員	菊地建雄	非専従	会津美里町職労

### 当面の日程

- 3月2日(土) 県南総支部第49回定期大会 (サンフレッシュ白河)
- 3月3日(日) 県平和フォーラム「女性協議会第19回総会」 「3.8国際女性デー福島県集会」 (県教育会館)
- 3月4日(月) 県本部・県支部共済推進委員会 県支部共済推進単組代表者会議 (ホテル福島グリーンパレス)
- 3月9日(土) 連合福島2019春季生活闘争・選挙闘争勝利 県中央総決起集会 (福島市・マックス北広場) 連合福島国際女性デーフォーラム (ラコバふくしま)
- 3月22日(金) 県本部中央執行委員会 (福島市)
- 4月27日(土) 連合福島第90回福島県中央メーデー (福島市)

ケガの場合、入院しなくても5日以上通院すれば、初日から通院共済金をお支払いします(1事故30日限度)

いちろうの団体生命共済

全労連 自治労共済本部

●詳しくは所属する組合まで

県北総支部

2月1日、県北総支部第12回定期大会及び春闘討論集会在福島市「ホテル聚楽」で開き、定期大会において、2019運動方針と新執行体制について承認された。



各単組から報告を受けた分散会

引き続きの春闘討論集會では、「2019春闘の取り組み」と題して県本部澤田書記長より春闘情勢や具体的取り組みについての講演を受けた。

講演後の分散会では、各単組の定期闘争の報告と春闘での要求について討論され、各単組の課題報告などが出された。

2月1日、矢吹町「ホテルニュー日活」において、春闘討論集會を開いた。集會では、月刊労働組合編集長の松上隆明氏から「2019春闘をめぐる情勢と私たちの課題」と題して講演を受けた。

講演では、「連合・ベア春闘のベア額と率、プラス人勸の平均改定率について、14春闘から18春闘の累積が約7,500円(2.5%)に対し、14人勸から18人勸の累積率が約1.3%と低い水準にあり、実質賃金が低下している」との実態が指摘された。

県南総支部



春闘提起をする日野調査部長

日野調査部長から、県本部の春闘の具体的取り組みについて提起を受け、各単組から定期闘争の

浜総支部

2月2日、相馬市「総合福祉センター」はまなす館において、春闘討論集會を開いた。

最後に、総支部の役割として定期的な情報交換、情報提供をしながら、諸課題の改善にむけ春闘を取り組んでいくことを確認した。

2月1日から2日にかけて、各総支部は2019春闘討論集會を開催し、全単組の要求書を確認し、要求書を目指すこと

「1年のスタートは春闘から」各総支部で2019春闘討論集會



また、定期の交渉で、「会計年度任用職員制度」の導入を前に、条例定数と現職員の差が非正規職員に置き換えられていく実態を追求してきた。

「1年のスタートは春闘から」各総支部で2019春闘討論集會を開催し、全単組の要求書を確認し、要求書を目指すこと

会津総支部

春闘期に単組は、県本部・総支部・各郡連協にそれぞれ課題や取り組みを交流し、春闘勝利に向けて取り組んでいくことを確認し、集會を閉じた。

単組があることから、県本部提起の方針を確認のうえ、「浜総支部管内の基礎自治体単組は、全単組での要求書提出をめざす」ことを確認した。

津波下町職員の鈴木青年部長から単組の活動報告を受け、今後、若手組合員に組合活動へ参画してもらおうにはどうしたらよいか討論を重ねた。

津波下町職員の鈴木青年部長から単組の活動報告を受け、今後、若手組合員に組合活動へ参画してもらおうにはどうしたらよいか討論を重ねた。

「会計年度任用職員制度」では、今春闘ですべての単組で要求し、自治労本部が示す妥結基準を下回らない交渉・協議を行うことや組織化への取り組みについて学んだ。

津波下町職員の鈴木青年部長から単組の活動報告を受け、今後、若手組合員に組合活動へ参画してもらおうにはどうしたらよいか討論を重ねた。

津波下町職員の鈴木青年部長から単組の活動報告を受け、今後、若手組合員に組合活動へ参画してもらおうにはどうしたらよいか討論を重ねた。

2月9日、福島市「県職員会館」において、春闘学習集會を開いた。

講師に月刊労働組合編集長の松上隆明氏、吉川はじめ衆議院秘書の伊藤剛氏から講演を受けた。

3人の講師は、切り口こそ違いますが、その課題解決への提言は一致し、「実質賃金の上昇(賃上げ)がなければ、健全な社会を築けない。賃上げを勝ち取るためには、労働者自身が主張する以外にない。将来世代も含めて、健全な社会の維持には労働組合の働きかけが必要になる」と、労働組合の重要性が高まっていることが強調された。

「担い手育成」では、会津若松市「御宿東風」において、2019春闘討論集會を開催し、全単組の要求書を確認し、要求書を目指すこと

津波下町職員の鈴木青年部長から単組の活動報告を受け、今後、若手組合員に組合活動へ参画してもらおうにはどうしたらよいか討論を重ねた。

津波下町職員の鈴木青年部長から単組の活動報告を受け、今後、若手組合員に組合活動へ参画してもらおうにはどうしたらよいか討論を重ねた。

県職総支部

2月9日、福島市「県職員会館」において、春闘学習集會を開いた。

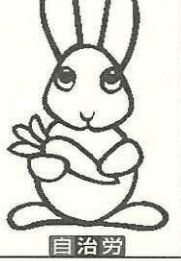
講師に月刊労働組合編集長の松上隆明氏、吉川はじめ衆議院秘書の伊藤剛氏から講演を受けた。

3人の講師は、切り口こそ違いますが、その課題解決への提言は一致し、「実質賃金の上昇(賃上げ)がなければ、健全な社会を築けない。賃上げを勝ち取るためには、労働者自身が主張する以外にない。将来世代も含めて、健全な社会の維持には労働組合の働きかけが必要になる」と、労働組合の重要性が高まっていることが強調された。

津波下町職員の鈴木青年部長から単組の活動報告を受け、今後、若手組合員に組合活動へ参画してもらおうにはどうしたらよいか討論を重ねた。

津波下町職員の鈴木青年部長から単組の活動報告を受け、今後、若手組合員に組合活動へ参画してもらおうにはどうしたらよいか討論を重ねた。

津波下町職員の鈴木青年部長から単組の活動報告を受け、今後、若手組合員に組合活動へ参画してもらおうにはどうしたらよいか討論を重ねた。



自治労

編集後記

先日、実家の農業所得を計算してみました。高齢者世帯なので、領収書を探すのに「苦労」が必要だと考えさせられます。

ZENROSAI NEWS 5118A050
じちろうマイカー共済
自動車総合共済
ご不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。
全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合
全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいている組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。
※2020年1月までの団体割引率を記載しています。